

警城時報

行發日二十
編輯兼發行 岡田 弘成
印刷 岡田 弘成
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金拾貳圓
廣告料 一行十四字計五十錢
日刊(日曜祝祭日)週日休刊

平市の縣立工業學校 縣會に建議案提出

連沼議員提出理由説明

満場一致で採擇さる

平市に縣立工業學校を設立する事は、縣會の如く市當局並に委員が各方面に資金の寄附募集中の處、三井榮一氏の二十万圓を筆頭に大抵の寄附額が纏つたので、縣に建議する敢取りになつてゐたが、十一日の縣會に石城郡選出縣議員連沼龍輔氏が平市、石城郡選出全議員の調印を得全議員の賛成を見て設立に關する緊急建議案を提出し満場一致採擇となつた、即ち同問題は本格的に移されたわけである、連沼議員の提出説明演説内容は、(連沼氏演説要旨)

只今上程になつた平市に縣立工業學校建設に關する建議案に就いて説明したい、先づ縣立工業學校の概要を申し上げれば時局は支那事變の解決を望み、而してこれが解決を計るには生産擴充の第一義は、しかも生産擴充の第一義は、人的要素の充實にあると云はねばならぬ、而して平市に縣立工業學校建設に就いては、同地方出身の在居成功者又は同地の炭礦關係より相當の寄附申出がある程であるから、若しこれの寄附問題が解決すれば縣に於いては、參事會代決してこれが正式決定をなし、明春十五年からは非開校するやう努力して欲しい、新進橋本知事にこれが斷行を要望して止まぬ。

木炭闇取引 大物四名を檢舉

購買者も留置さる

赤井村木炭商草野米彌(五五)植野に引致取調を進めてゐるが、田町渡邊重松(四六)双葉郡川内藤澤繁徳(四五)として近く送局され、川原義男(五二)外一名は本年八月頃から茨城縣日立市日産農林工業株式會社日立林業事務所にて毎月一萬二、三千俵を全部一等品と稱し、而して縣外移出公定價格でなく、縣内最高卸賣價格公定價格より二十五錢高で賣つてゐる、主として来る十五日午後七時より、前記四名の外日立林業事務所事務所所長長松良外四名を平市玉天延彦閣下を呼びて時局に關

四王天中將 大野村二講演
赤井村木炭商草野米彌(五五)植野に引致取調を進めてゐるが、田町渡邊重松(四六)双葉郡川内藤澤繁徳(四五)として近く送局され、川原義男(五二)外一名は本年八月頃から茨城縣日立市日産農林工業株式會社日立林業事務所にて毎月一萬二、三千俵を全部一等品と稱し、而して縣外移出公定價格でなく、縣内最高卸賣價格公定價格より二十五錢高で賣つてゐる、主として来る十五日午後七時より、前記四名の外日立林業事務所事務所所長長松良外四名を平市玉天延彦閣下を呼びて時局に關

中野齒科

平市田町(電話五〇九)
院長 中野 直次

名譽の戦死者 二名發表

▲神谷村字上片寄部部隊の工兵上等兵木村忠三君は八月二十日ノモンハンの激戦で戦死し(六四)兄弟二人(三二)外姉は十一日原隊から發表された

着のみ着のままで 日も當てられぬ惨状

夏井村大火後報

木炭商の美舉 出征遺家族と貧困者に

七百俵と提供

元石城醫師會會長 額賀襄翁逝去

四倉町醫師額賀襄翁(七三)は病に氣加添中であつたが、昨十一日午前十一時五十分死去した

勤續者表彰

植田營林署では木炭需要期を前に同署官行製炭業者十八名を表彰した

中支へ送られた 『生きた慰問袋』(二)

中島湖洲記す

西南へ遠撃

鳳城正陽關の戦鬩、鳳城(六月五日)正陽關(六月十日)廣州へ前進(六月二十八日入城)

落磐慘事

内郷村警城炭礦坑坑夫宮城縣志田郡根木町所産春(二〇)半島生れ金鐘連(四三)の兩名は九日午後八時頃坑内で作業中落磐のため重傷を負ひ手當を加へたが絶命した、又十日午前十一時半頃同坑任吉坑第二坑にも落磐あり坑夫山形縣生れ古川彌次郎(四〇)は下敷となつて惨死した

平市人事録

出生 舊城跡柳澤保三男柳澤茂
〇婚姻 泉村佐藤清(二二七)下平窪吉野チエ子(二〇)
△死亡 長村町太田徳治(三九)

精神修養に 諸曲と仕舞

喜多流白土會
「入會證」平市田町六九

元石城醫師會會長 額賀襄翁逝去

六四二二宮尊徳翁の銅像建立費(四倉小學校奉安庫フキ)二百圓、国防防人會、二十圓、四倉書畫會、二十圓、郷軍人分會、二十圓、四倉青年會、二十圓、四倉助成會、二十圓、四倉水難救済會、二十圓、四倉地区青年會、二十圓、四倉家庭防衛會、二十圓、四倉人事相談所、二十圓、四倉軍友會

錦校上棟式

〇〇部隊長は心から將兵の勞を働はんとせられ、血闘き戦場の破れたる地に、血闘き戦場に依り築いたる故郷の唄や踊り、又は音信をもちたる家族にも等しい慰問使を、身心の慰撫を清めさせ、より強く減私奉公、報國精神の涵養に對し前記の如く郷土演藝慰問團の派遣方を希望せられたので、其結果、福島、福島、新潟の三縣、各縣十名、計三十一名(宮城縣清水源太郎氏は三縣の團長)を決定し、生きた慰問袋が中支派遣の郷土部隊に送られる事になり、これが實現を見たのである。斯

中支へ送られた 『生きた慰問袋』(二)

中島湖洲記す

精動通信

電気と石炭の節約は
軍國下の國民の義務です

我が國は由來天然資源に乏し消費を節約することは國民の義務であります。近代文明は、高い山と豊富な雨を利用して水力電力を起し、それによつて産業日本を形づくつてをります。そこで高い山と豊富な雨は國の寶であります。電力は水力が三分の二で、あとの三分の一が火力であります。雨の降り方は、一年中の季節によつて異ります。梅雨季には多いが、二月頃は極く少い。これによつて雨の少ない季節と、日

照りつゞきになると、火力電氣の不足を補ふのであります。その火力電氣の原料は石炭であります。石炭が問題となつて來ます。

我が國には石炭が乏しい上に以前は燃料としてのみ使はれた石炭が、近頃はその用途が廣くなつて、産業上重要な原料となつて來ました。コークスをはじめ燃料製品の原料は石炭であり、石油の不足から發明された石炭液化法によつて、一トンの石油を得るのに四トン、五トンの石炭を要するわけで、石炭の需要はますます増加する一方であり、石炭を大切に使用

電話 384
常に商品豊富
御用命は.....
平市 三井呉服店へ

文魁文堂
電話 313番

用應氣電力強
効特に痛經神
平市田町 電話一七一七番

洋酒と喫茶
平市前 電話三七三番

御誂に既製品
電話三八六番

魚清なべ料理
自慢のなべ料理
鳥なべ・ちりなべ・よせなべ・ねぎなべ・かきなべ・はもなべ・あんこなべ・その他

出前持・炊事婦入用
電話六三三番

尚ほ季節料理
平市田町 電話一七一七番

おでん
始めました
出前迅速
十一屋食堂
平市前 電話三七三番

銃後の作家計費引下に
十日のサービスデーを
ご利用下さい
平市前 電話三七三番

かまぼく製造
折詰は出
お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目
電話一四一四番

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
調理見習婦人
サロン
平市銀座街 電話592

開業
とんかつ
専門の店
平市仲田町
電話四六五番

帝都演藝豪華名流家來
浪曲界の豪華
廣澤 虎若
神田 伯龍
天才少女浪曲横綱
鈴木 照子嬢
ブルースのクイン
歌謡曲の名花
丸山和歌子
日時 昭和十四年十二月十九日
正午より 午後五時より
主催 磐城通信社
後援 平市役所

干やなぎ
いか切込み
平市土橋
丸仙商店
電話六六二番

親戚總代
友人總代
市木高額永大叶額額額額
原村木賀井方多賀賀賀賀
卯寅元勝哲正
太郎治助郎三也毅毅誠

額賀囊儀病氣ノ處養生相不叶十
一日午前十一時五十分逝去致候間
此段御通知申上候
追々葬送ノ儀ハ十五日午後一時自宅出棺
海岳寺ニ於テ告別式施行仕候 時節柄造
花供物等一切御辭退可致候
昭和十四年十二月十二日
喪主 福島縣四倉町
親戚總代
友人總代
市木高額永大叶額額額額
原村木賀井方多賀賀賀賀
卯寅元勝哲正
太郎治助郎三也毅毅誠